

## 概観

### 【政治・社会】

- ・ 新欧州委員会が19日に発足、また、ムラデノフ新外相も前外相の改革路線への変更を発表する等、ジェレヴァ前外相の辞任及び欧州委員候補辞退を発端とした一連の事態が收拾。
- ・ 組織犯罪撲滅への取組みの一環として、国家保安庁元幹部を含む14名が組織犯罪への関与容疑で一斉逮捕された。

### 【経 済】

- ・ 政府、中銀、EBRDは2010年の経済成長率を上方修正するも、産業界には景気低迷が年末まで続くとの見方もある。建設業界では経費削減、人員整理が続き、金融界も厳しい年と予測。外需による輸出産業の活性化と外国投資が景気回復の鍵を握ると見られている。

### 【我が国との関係】

- ・ (スポーツ交流) JOCとBOCが相互協力協定を締結

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

## 政治・社会

### 1. 内政

#### ◆ 大統領2法案に拒否権発動を表明 (1日)

▶ パルヴァノフ大統領はポリソフ首相に対し、先般国民議会で承認された国防・軍事法及び集会・デモ活動法の改正について、拒否権を発動する旨述べた。理由として、国防・軍事法改正案については、軍の最高司令官たる大統領の権能を削ぐものの、集会・デモ活動法については議会、閣僚評議会ないし大統領府前でのデモを禁じているのが不適切であること等を挙げた。

▶ 「ボ」首相は「パ」大統領の指摘に同意、両法案の再検討を約束した。

#### ◆ ゲオルギエヴァ世銀副総裁：欧州委員に

▶ 3日、クリスタリーナ・ゲオルギエヴァ欧州委員候補（世銀副総裁）は欧州議会のヒアリングに

出席、出席した複数議員から、同人の資質・知見、コミュニケーション能力に満足したとのコメントがあった。

▶ 8日、欧州議会は新欧州委員会を承認、9日には就任、ゲオルギエヴァ候補は国際協力・人道援助・危機対応担当欧州委員に就任した。任期は5年。

▶ 一方、クネヴァ前欧州委員（ブルガリア出身・消費者保護担当）は、20日、バローゾ委員長から打診された欧州政策諮問部長ポストへの就任を辞退、今後も（欧州またはブルガリアの）政界で活躍する意向を表明した。

#### ◆ ムラデノフ外相：外務省組織改革及び外交重点分野について発表 (18日)

▶ 18日、ムラデノフ外相は、自らの政策について発表、その中でジェレヴァ前外相の外務省組織改革案の変更に言及した。前外相が統一するとし

ていたアジア・豪州・大洋州局と中東・アフリカ局は別組織のままとし、職員のレイオフについても、より慎重に実施する必要があると発言した。  
▶また、最優先外交分野として南東欧及び黒海沿岸地域の地域協力枠組みへの積極的関与を挙げた他、経済省、財務省、内務省、国防省等の関係省庁とよりよい連絡・調整を行っていくとした。

## 2. 外政

### ◆ ポリソフ首相：英国訪問等

▶ポリソフ首相は7～8日、英国を訪問、ブラウン英首相、ベルコウ下院議長らと会談、また、同行したツヴェタノフ内相は両国の諜報機関の協力等につき協議した。

▶10日、ポリソフ首相は欧州理事会に出席、パパンドレウ希首相と会談。「パ」首相は、希農民が抗議運動の一環として両国国境をブロックしている事態に付き解決に向けて善処する旨述べた。

### ◆ パルヴァノフ大統領：ベルギー、ルクセンブルグ訪問（22～23日）

▶パルヴァノフ大統領は、アルバート二世、レテ

## 経済

### 1. マクロ経済

### ◆ 2009年第4四半期の経済成長率はマイナス6.2%

統計局は12日、2009年第4四半期の経済成長率は対前年比マイナス6.2%となったと発表した。2009年全体ではマイナス5.1%となった。第4四半期は製造業の落ち込みの影響が大きく、対前年同期比でマイナス8.2%もの落ち込みとなった。またサービス産業、農業でもそれぞれマイナス3.4%、マイナス4.7%となり、多くの分野で後退局面を迎えている。

### ◆ 2010年経済成長率0.3%（政府発表）

政府は2010年の経済成長率を0.3%に上方修正した。中銀も同様の見方をしており、昨年末に今年の成長率を0.5%と発表している。EBRD

ルメ首相等と会談した他、ブゼック欧州議会議長、バローゾ欧州委員会委員長、ファン＝ロンパイ常任議長等と会談。また、ゲオルギエヴァ欧州委員とも会談し、EUの対ハイチ援助等につき協議。  
▶23日にはルクセンブルクを訪問し、ユンカー首相等と会談を行った。

## 3. 社会

### ◆組織犯罪・汚職対策

### 元国家保安庁顧問等14名を逮捕（11日）

▶アレクセイ・ペトロフ元国家保安庁顧問を含む14名が組織的詐欺・強請及び密売の容疑で一斉に逮捕された。同オペレーションは「オクトパス作戦」と名付けられた。

▶ポリソフ首相は外遊先のブリュッセルにおいて、同逮捕についてコメントを求められ、これは弱肉強食のサバイバル戦争だ、と発言、今後の見通し等については言及を避けた。

も昨年10月にはマイナス1.5%とした数値を現在は0.7%と修正している。一方、IMFやECはそれぞれマイナス2.5%、マイナス1.1%と予測している。

### ◆景気低迷は年末まで

政府は2010年の景気判断を上方修正したが、産業界は国内の景気低迷は年末まで続くと考えている。建設業界では9月までは経費削減、人員整理が続くと見られており、金融界も今年は非常に厳しい年となると予測されており、収益減は年末にピークを迎え、不良債権は10%に達すると見られている。今後の景気回復は外需による輸出産業の活性化と外国投資が鍵を握ると見られている。

### ◆ 2009年の外国投資はマイナス56.6%

2009年の外国投資は約半減、28億ユーロ（マイナス56.56%）となった。産業分野別で見ると最も多くの外国投資を誘致したのは金融分野であり、2番目は不動産分野であった。最も多く投資した国はオランダ（30.9%）、ついでドイツ（15.2%）となっている。2010年についてはEU経済の持ち直しにかかっているが、30億ユーロを超えないであろうと見られている。

#### ◆失業者が58万人に

雇用庁は国内の1月失業率を前月の9.13%より上昇し、9.9%と発表しているが、職も無く就職活動もしない人が約22万人いると予測されており、登録失業者の36万人にこの数を加味すると、国内の失業者は約58万人に上ると見られる。

#### ◆2009年の対外債務は6.265億ユーロ増

ブルガリアの2009年対外債務は376億ユーロとなり、前年比6億2650万ユーロの増加となった。このうち長期債務は65.4%を占め、短期債務は34.6%となっている。また政府債務は280億ユーロで、約2億ユーロの増加、銀行の債務は83億ユーロと7億ユーロの減となった。また通貨別でみると対外債務の88.6%は

ユーロ建て、6.5%が米ドル建てとなっている。

#### 2. その他

#### ◆再生可能エネルギーへの増税

再生可能エネルギーによる発電に対する税金が少なくとも10%上げられる見込み。これは国内における再生可能エネルギー関連プロジェクト乱発への対策の一環としてとられる。昨年末に米AESの風力発電所156MWが稼動したため、それまでの風力発電の発電量114MWから倍増。国全体では1500MW以上を風力発電に依存するのは問題との意見も多く、増税も含めた対策を6月末にも発表する予定となっている。

#### ◆ベーレネ原子力発電所は先行きが見えず

デヤンコフ財務大臣は、ベーレネ原子力発電所は戦略的投資家が現れない限り実施されることは無いとしている。一方、トライコフ経済大臣は現在新たな投資家を探しているが、ブルガリアは原発の株式50%を維持することも可能であるし、オプションとして15~20%をロシアに売却することもありえると発言している。

### 我が国との関係

#### ◆ スポーツ交流

#### 日本オリンピック委（JOC）、ブルガリア・オリンピック委（BOC）と協力協定締結

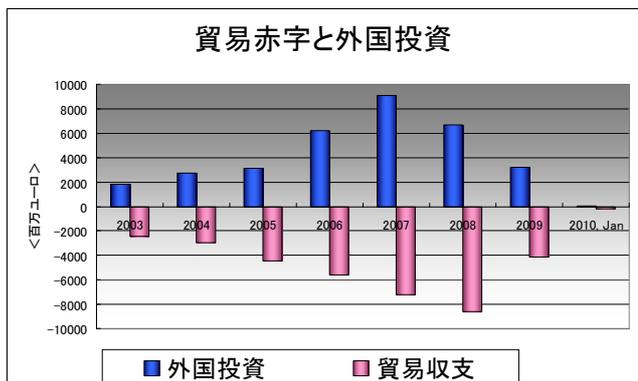
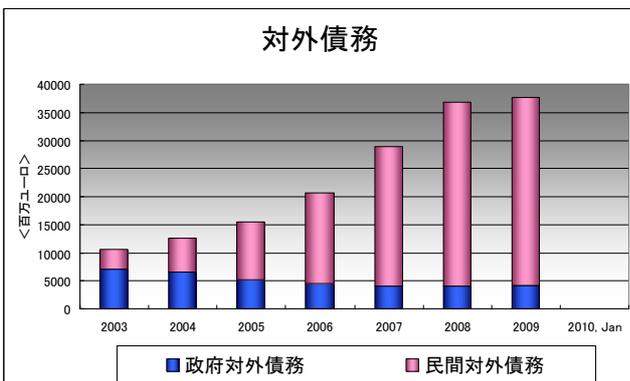
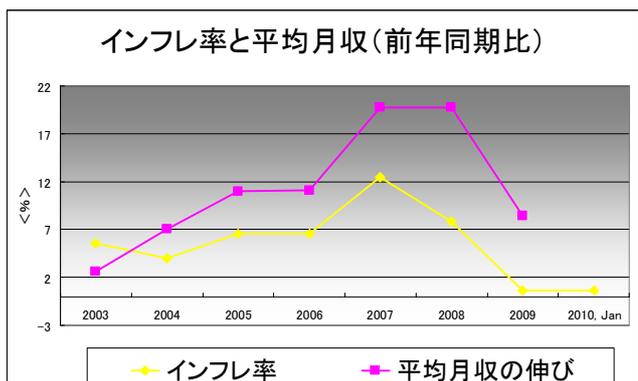
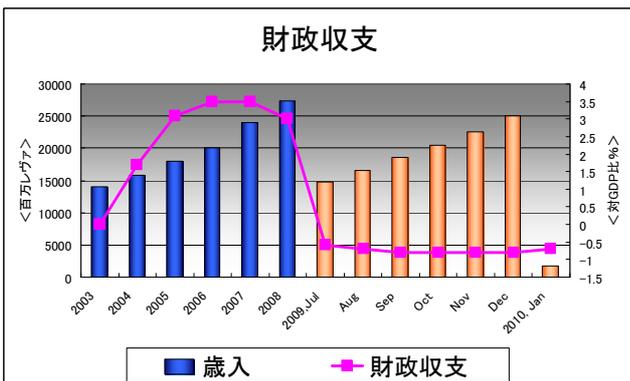
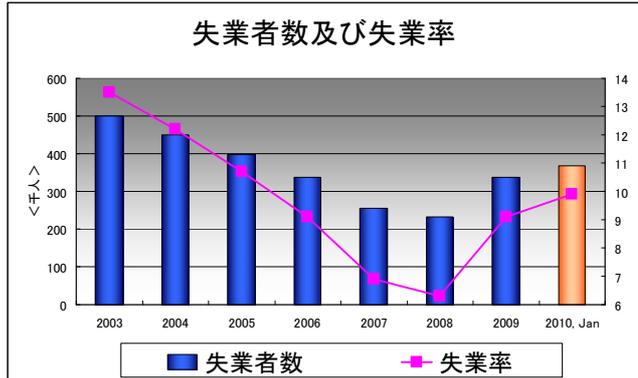
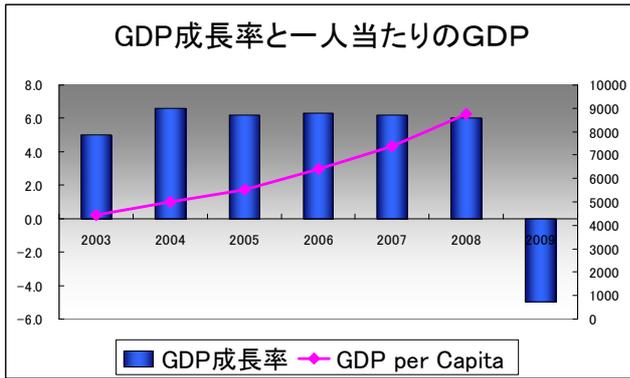
▶22日、日本オリンピック委員会（JOC）は冬期五輪の開催されているバンクーバー（カナダ）において、ブルガリア・オリンピック委員会（BOC）とスポーツ医療、ドーピング対策、五輪招致活動に関する情報交換と相互協力等を含む相互協力協定を締結した。

## ブルガリア内政・外交の動き（2月）

在ブルガリア大使館

1（月）	
2（火）	
3（水）	
4（木）	☆アンゲロフ国防相：NATO非公式閣僚会合出席（イスタンブール）。（～5日）
5（金）	☆ムラデノフ外相：ミュンヘン安全保障会議出席。（～7日）
6（土）	
7（日）	☆ボリスフ首相：英国訪問。（～8日）
8（月）	
9（火）	
10（水）	☆ボリスフ首相：欧州理事会出席（ブリュッセル）
11（木）	●元国家保安庁顧問等14名を組織犯罪関与容疑で一斉に逮捕
12（金）	
13（土）	
14（日）	
15（月）	
16（火）	
17（水）	
18（木）	☆パルヴァノフ大統領：ヨシポビッチ・クロアチア新大統領就任式出席（ザグレブ）
19（金）	
20（土）	
21（日）	
22（月）	☆パルヴァノフ大統領：ベルギー訪問（～23日）アルバート二世、レテルメ首相、ブゼック欧州議会議長、バローゾ欧州委員会委員長、ファン＝ロンパイ常任議長、ゲオルギエヴァ欧州委員と会談。 ☆ムラデノフ外相：EU定例外相会合出席。 ☆ムラデノフ外相：アシュトン上級代表と会談。
23（火）	☆パルヴァノフ大統領：ルクセンブルク訪問。
24（水）	
25（木）	☆マリン副大統領：ヤヌコヴィッチ・ウクライナ新大統領就任式出席。 ☆ボリスフ首相：欧州委・ハンガリー外務省共催、ドナウ地域戦略会合出席。 ☆ボック・ルーマニア首相：ブルガリア訪問。（～26日）
26（金）	
27（土）	
28（日）	

# ブルガリア経済指標（2010年2月）



出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所

## ブルガリア主要経済指標

### < GDP成長率と一人当たりのGDP >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
GDP成長率 (%)	5.0	6.6	6.2	6.3	6.2	6.0	-5.0
GDP per Capita (BGN)	4426	4989	5529	6411	7379	8753	

### < 失業者数及び失業率 >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan
失業者数 (千人)	501	451	397	338	256	232	338	367
失業率 (%)	13.5	12.2	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	9.9

### < 財政収支 >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009, Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	2010, Jan
歳入 (million BGN)	14070	15855	17991	20023	24063	27317	14751	16582	18525	20543	22476	25022	1749
財政収支 (対GDP比)	0	1.7	3.1	3.5	3.5	3	-0.6	-0.7	-0.8	-0.8	-0.8	-0.8	-0.7

### < インフレ率と平均月収 >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan
インフレ率 (前年同期比 : %)	5.6	4	6.5	6.5	12.5	7.8	0.6	0.6
平均月収の伸び (前年同期比 : %)	2.6	7	11	11.1	19.7	19.7	8.4	

### < 対外債務 >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan
政府対外債務 (million euro)	7074	6585	5198	4555	4092	4104	4141	
民間対外債務 (million euro)	3592	6073	10309	16074	24763	32625	33459	

### < 貿易赤字と外国投資 >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan
外国投資 (million euro)	1851	2736	3152	6222	9052	6697	3213	52.9
貿易収支 (million euro)	-2426	-2954	-4410	-5562	-7245	-8597	-4103	-173.7